

会 議 録

- 1 付属機関の会議の名称 令和6年度 第2回妙高市国民健康保険運営協議会
- 2 開催日時 令和7年2月20日（木）午後1時30分から午後2時40分
- 3 開催場所 妙高市役所3階 303会議室
- 4 出席した者の氏名
 - （1）委員（13名 敬称略）

須山君子、早津浩司、森山由美子、前島順子、櫻井新樹、太田昭弘、廣瀬和人、
小林泰彰、和泉伸一郎、佐藤文枝、須崎朋子、宮本康弘、熊木三男
 - （2）執行機関（事務局 4名）

松橋健康保険課長、西條健康保険課長補佐、堀川係長、岡寺主事
- 5 欠席した者の氏名（2名 敬称略）

廣瀬英子、坂井雅和
- 6 開会 午後1時30分
- 7 会長挨拶
- 8 議事録署名委員の指名

和泉会長より須山君子委員が指名された。
- 9 議題
 - （1）令和7年度妙高市国民健康保険事業計画（案）について
 - （2）令和7年度妙高市国民健康保険特別会計予算（案）について
 - （3）令和7年度税制改正等に伴う妙高市国民健康保険税条例の改正（案）について

1 0 会議資料の名称

- (1) 令和7年度妙高市国民健康保険事業計画（案）について（資料1）
- (2) 令和7年度妙高市国民健康保険特別会計予算（案）について（資料2）
- (3) 令和7年度税制改正等に伴う妙高市国民健康保険税条例の改正（案）について（資料3）

1 1 発言の内容

- (1) 令和7年度妙高市国民健康保険事業計画（案）について

※資料に基づき事務局より説明

<質疑>

委 員 資料1の1ページ目の被保険者数の説明において、外国籍のかたが増加していることについて聞きたい。冬場増えるということは、やはりスキー場関係ということか。また、国籍はわかるか。

事 務 局 妙高高原地区への転入が多い状況である。新井地区へ転入されるかたも増えているが、ほとんどは高原地区となっている。特にオーストラリアからの転入者が多い状況である。

委 員 妙高市に住民票があるということか。

事 務 局 基本的には住民票がないと国民健康保険には入れないため、住民票の登録をされたかたが国民健康保険に加入している状況である。

委 員 国税の徴収に関しては97%の収納率を目指すということだが、外国籍の加入者の納税状況はどうか。

事 務 局 対応について大変苦慮しているのが実情である。課税額を計算する際、日本における所得がない場合は軽減制度に基づき低い税額になるため、払えないということではないと思うが、納税通知書が届かず戻ってくる場合や、諸事情により納税通知書が届く前に転出するかたもいる。また、理解不足による不払いの場合もあると思われるため、加入手続きの際に必ず支払っていただくよう説明するとともに、納税通知書に英語で説明文を添付するなど、工夫しながら、対応しているという状況である。

委 員 今後リゾート開発で外国籍の加入者が増加することも考えられるが、しっかり納税していただくことが望ましい。半年ぐらいで転出する場合は対応も難しいと思うがしっかりやってほしい。

事 務 局 外国籍のかたへの対応については、他の市町村に対応状況を確認するなど、今後も収納対策に取り組んでいきたい。

委 員 人間ドックの助成の件で聞きたい。過去の会議で、指定受診機関を増やしてはどうかと提案したが、令和7年度の事業計画の中で、新しい取組として指定受診機関以外で受診した場合も償還払いで助成をするという説明があった。指定受診機関以外というのは、どこでもいいということか。また、ある程度の検査内容を満たさないといけないのではないか。

事 務 局 特定健診の項目を含めた人間ドックの場合には、どちらで受診していただいた場合でも、領収書と検査結果をお持ちいただければ、助成させていただく予定である。内容について申請の際にチェックをさせていただいた上で、助成を決定することになる。

委 員 助成額は1万5千円か。

事 務 局 指定受診機関で受診されたかと同様となる。

質疑の後、「令和7年度妙高市国民健康保険事業計画（案）について」は承認された。

（2）令和7年度妙高市国民健康保険特別会計予算（案）について

※資料に基づき事務局より説明

<質疑>

委 員 歳出の④保健事業費のうち疾病予防費で、人間ドック対象被保険者数の減により予算額が減少しているとのことだが、令和7年度から新たに償還払による助成を行う分は含まれているのか。また、現在の人間ドックの実績はどうか。

事 務 局 予算が減少となった理由は、人間ドックの助成対象者が年々減少し、予算の執行残が生じる状況になっていたため、実績に基づいて減額しているものだが、令和7年度から開始予定の償還払い分も見込み計上している。また、今年度の実績は現時点で390名となっており、令和7年度の予算では430名を見込んだ。指定受診機関での受診者が今年度と同数になったとしても、40人程度の償還払いは可能と考えている。

委 員 人間ドック助成を疾病の早期発見や重症化予防のためにやるのであれば、人間ドックの受診者を増やすための取組をしてほしいと思うがどうか。

事 務 局 人間ドックの受診者が減少している1つの要因として、検査料金の費用負担が大きいため、市の集団検診に移行していることがあげられる。市としては人間ドックだけではなく、集団検診やかかりつけの病院での検査など、いずれかの方法で特定健診を受診していただくよう、広報を行っているところである。

質疑の後、「令和7年度妙高市国民健康保険特別会計予算（案）について」は承認された。

（3）令和7年度税制改正等に伴う妙高市国民健康保険税条例の改正（案）について

※資料に基づき事務局より説明

質疑、異議はなく、「令和7年度税制改正等に伴う妙高市国民健康保険税条例の改正（案）について」は承認された。

1.2 その他

（1）資料4「高額療養費の見直しの予定について」

※資料に基づき事務局より説明

（2）事務連絡

- ・今年度の運営協議会は今回で終了。
- ・現委員の委嘱期間が令和7年7月31日で満了、来年度改選。
- ・来年度の会議は4回の開催を予定。

1.3 閉 会 午後2時40分

上記に相違ないことを確認する。

令和7年3月6日

妙高市国民健康保険運営協議会

会 長 和泉 伸一郎

令和7年3月6日

会議録署名委員 須山 君子